

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>



ねっ 2012
12 月号

お知らせ

寄付依頼、ボランティア募集、助成金申請…NPO活動への共感・協力を呼び込もう!!

「伝えるコツ」 伝授します!

プレゼンテーションスキルアップセミナー

NPO活動を軌道に乗せ、継続させていくためには、一般の個人・団体からの寄付やボランティアの募集、各種助成金を獲得するための申請・プレゼンテーションなど、日ごろの活動や思いを他者に伝えていく力が必要です。今回のセミナーでは、広報活動をしていく上での基本的な考え方や実践ノウハウを、グループワークを交えながら学びます。2月に控えた当財団地域活性化支援事業の助成金審査会での公開プレゼンテーションに向けた実践的な演習も盛り込んでいます。

セミナーの流れ



講師

特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター

代表 古賀桃子さん

受講対象

NPO、市民活動団体、地域づくり団体、
当財団 地域活性化支援事業
(ステップアップ事業、ジャンプアップ事業)助成金申請団体など

日時・場所・定員

浜田

平成25年1月15日 午後1時半から5時まで
いわみぶらっと会議室1・2
(浜田市相生町シティパルク浜田2階)
定員 30人(先着順)

松江

平成25年1月16日 午後1時半から5時まで
STICビル201・202研修室
(松江市白湯本町)
定員 40人(先着順)

その壹 講義とワークショップ「伝えるコツ!!」

…テキストを使って講義とワークショップを交互に行います

その貳 プレゼン演習①「素敵なプレゼンをつくってみよう」

…寄付やボランティア募集など、外部に協力を依頼するシーンを想定し、紙とペンでそれぞれがプレゼンを作成します

その参 プレゼン演習②「ぐるぐるツッコミタイム」

…全体・グループごとに完成したプレゼンの内容や見せ方などを助言し合います

その四 深呼吸タイム …まとめのレクチャーをします

使用テキスト

日本を代表する広告会社・電通の経験やノウハウを「伝えるコツ」としてまとめたオリジナルテキスト「伝えるコツ—NPOの広報力は、ちょっとしたコツでアップする」を使います。「考え方編」「実践編」「応用編」の3つのコツがつまっています。



申込み・問合せ先

申込み〆切: 1月10日
(公財)ふるさと島根定住財団(内田)
TEL: 0852-28-0690
FAX: 0852-28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

助成金情報	
<p>北川奨励賞</p> <p>期 ~1/11 (金)</p>	<p>対 難病や障がいを持つ子どもたちとその家族に対し、社会医学的な実践、セルフヘルプ活動、またはボランティア活動を進めており、すでに何らかの実践を行っている個人またはグループ等 金 1件50万円を上限</p> <p>問 コーポレートガバナンス協会 北川賞事務局(高橋さん)</p> <p>TEL:045-263-6965、FAX:045-263-6966</p> <p>URL:http://www.teamcg.or.jp/</p>
<p>中国ろうきんNPO助成金</p> <p>期 ~1/15(火)</p>	<p>2012年1月以降すでに特定非営利法人として認証を受けた団体、もしくは現在認証申請中・準備中の団体で、NPO法人立ち上げ時の支援を希望する団体に助成します。</p> <p>金 1団体20万円を限度とし、中国5県で総額300万円以内</p> <p>問 中国労働金庫島根県営業本部 NPO助成係 TEL:0852-27-1600</p>
<p>環境NPO助成</p> <p>期 ~1/18 (金)</p>	<p>日立環境財団では「環境と経済との統合に資する活動」や「環境問題の解決に資する科学・技術的活動」を行うNPOやNGO、任意団体を助成します。</p> <p>対 国内NPO法人か、環境分野の実践活動実績を有する国内の任意団体</p> <p>金 1件あたり150万円を限度(総額800万円)</p> <p>問 (公財)日立環境財団 TEL:03-3257-0851 FAX:03-3257-0854</p>

イベント情報	
<p>くにびき学園一般公開授業</p> <p>日 1/11 (金) ~1/25 (金)</p>	<p>◎東部校(いきいきプラザ島根)</p> <p>・1年総合1/15 ・1年専門1/22 ・2年総合1/11 ・2年専門1/18</p> <p>◎西部校(いわみーる)</p> <p>・1年総合1/18 ・1年専門1/25・2年専門1/15</p> <p>■講座概要~くにびき学園概要、地域の歴史と文化、NPOと市民活動、ボランティア活動の実践例等</p> <p>対 来年4月から平成25年度生として入学を希望している人で、学園の授業内容について知りたい人。または、くにびき学園の授業内容や学園全般について知りたい人。その他、関心のある人。参加希望者は、開催期日の1週間前までに申し込んでください。</p> <p>問 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会</p> <p>TEL:東部 0852-32-5962 西部 0855-24-9336</p>
<p>グループでの創業セミナー</p> <p>日時 1/17 (木) 雲南 13:30~ 1/24 (木) 江津 19:00~</p>	<p>企業組合、LLP、まちづくり会社の事例を中心に、特徴や留意事項などを説明します。多様な組織形態の中で、個人がチームを結成しての創業を考えるにあたり、自らの意志に適する組織形態について考えます。</p> <p>場 雲南会場:三刀屋交流センター 江津会場:江津商工会議所</p> <p>対 県内で創業を目指す人や法人化を考えているグループ、行政・支援機関職員等</p> <p>費 無料</p> <p>問 島根県中小企業団体中央会 組織振興課 TEL:0852-21-4809</p>
<p>認知症予防講演会</p> <p>日時 1/19 (土) 松江 13:30~ 1/20 (日) 益田 14:00~</p>	<p>高齢者の1割が認知症という時代にあり、認知症の予防とケアを学びます。島根県立大学出雲キャンパスの山下一也副学長が講師となり、認知症サポーター養成講座を兼ねて開催されます。場 松江会場:くにびきメッセ国際会議場、益田会場:グラントワ小ホール 定 各200人 申込〆切1/11</p> <p>問 島根県健康福祉部高齢者福祉課</p> <p>TEL:0852-22-5717 FAX:0852-22-5238</p>

募集情報	
<p>プロジェクト石見プランコンテスト 地域ビジネス部門</p> <p>期 ~1/18 (金)</p>	<p>石見の地域資源を活用した新たなビジネスプランや、地域の課題をビジネスで解決につなげるプランを募集します。より高い収益を得ながら活動の持続・発展を目指すプランを「石見産業おこし大賞」として起業支援金100万円、公共性・公益性の高いプランを「石見地域おこし大賞」として起業支援金100万円をそれぞれ贈ります。</p> <p>対 個人・団体・県外・県内在住者どなたでもかまいません。受賞後最低1年間は石見地域をフィールドに活動することが条件となります。</p> <p>問 特定非営利活動法人てごねっと石見 TEL:0855-52-7130</p>

※アイコンの説明

日 日にち 時 時間 場 場所 定 定員 費 費用 主 主催 期 期日 金 助成金額 対 対象 問 問合せ先

お知らせ

中国ろうきんNPO寄付システム

寄付金の配分先を募集します!

ふるさと島根定住財団では、中国労働金庫と協働で「NPO寄付システム」を運用しています。これは、中国労働金庫に普通預金口座を開設している人から、NPOの活動分野ごとに定期的に寄付されたお金を、審査会で決定した団体に配分することで、県民とNPOを結び、NPOの基盤づくりを支援することを目的とした寄付システムです。

対象活動分野は…

県内に事務所を置き、2012年11月末までに認証された団体で、以下の12分野の計17団体へ配分されます。

- | | |
|------------------------|------|
| ・保健・医療・福祉の増進を図る活動 | …3団体 |
| ・環境の保全を図る活動 | …1団体 |
| ・消費者の保護を図る活動 | …1団体 |
| ・国際協力の活動 | …2団体 |
| ・子どもの健全育成を図る活動 | …5団体 |
| ・学術・文化・芸術・スポーツの振興を図る活動 | …1団体 |
| ・まちづくりの推進を図る活動 | …1団体 |
| ・NPO支援 | …1団体 |
| ・科学技術の振興を図る活動 | …1団体 |
| ・災害救援／地域安全／人権・平和活動（*注） | …1団体 |

配分金額は…

1団体につき5万円（ただし子どもの健全育成分野のみ10万円）

（*注）の3分野については、審査によりうち1団体に配分します

募集期間は…

2013年 **1月24日**（木）16時必着

問い合わせ・応募は…

ふるさと島根定住財団 地域活動支援課（TEL:0852-28-0690）

応募用紙に記入の上、郵送または持込みでご応募ください。

県民いきいき活動促進キャンペーン

11月～12月の2か月間で展開している県民いきいき活動促進キャンペーンもいよいよ大詰め。

島根県では、県民いきいき活動を「知って」「共感して」「参加して」いただくため、様々なPR活動を行いました。

また、フェスタの事前研修では、しまね社会貢献基金のメリットを改めて確認し、活用術を学びました。52団体だった登録団体数は3つ増え、55団体に。さらに3団体が申請に向けて手続き中です。県民の思いを託す受け皿となる団体がますます拡大しています。

そして、現在募集中のいきいき活動の写真の締切は1月31日まで。抽選で200名様にオリジナルトートバックをプレゼントしますので、ぜひご応募ください。

さらに、このたび新設された「サポーター企業」は引き続き、募集していきます。寄付つき商品を販売していただける企業、特製募金箱を設置していただける企業を募集しています。募金箱は限定100個。なくなり次第終了しますので、お早目に。

このキャンペーンは12月でいったん終了しますが、今後も、引き続き、みんなの力で県民いきいき活動への参加を促していきます。

<キャンペーンに関する問い合わせ>

島根県NPO活動推進室 TEL:0852-22-5096

報告

開催しました

しまね田舎ツーリズム第8回県内研修会

「田舎ツーリズムの食のこだわり」大集合!

1月29日に浜田市のたばせ屋で、12月4日に雲南市の食の杜かやぶきで開き、浜田会場には37人、雲南会場には43人と、両日とも定員（30人）を上回る参加者で賑わいました。地元の魚を使ったヘカ鍋や、捕獲したしか肉を使ったしかカレー、地域にまつわる伝統のかた菓子など、地域資源を活用した多彩な料理が持ち寄られ、試食を交えながら、故郷に根付く食文化や食を交えたツーリズムのあり方などが意見交換されました。人々の交流を深めていく上で大切な役割を果たす地域の食の価値を再認識しました。



プロボノ

コラム

とても洗練されたデザインのチラシを見かけて、専門性を持った方に広報を頼みたいけれども予算もないし…とお考えの皆さん、「プロボノ」という社会貢献活動をご存知でしょうか？

「プロボノ」の語源はPro Bono Publico（公共善のために）というラテン語。新しいボランティアのカタチとして、日ごろ本業を持つ社会人が、そのスキルと少しの時間を活かしてできる社会貢献として注目されています。忙しくて活動以外に力が注げないNPOにとっても、何か社会貢献したいという思いを持つ人にとっても、さらに社員に社会貢献活動の機会を与えると同時に「仕事」に対するモチベーションをあげたい企業にとっても、メリットがあるということになります。

背景には、若者を中心に広がる仕事への意識の変化がある

とわれています。仕事が専門化、複雑化する中、多くの人が仕事に対して働きがいや社会的意義を求めています。職に就きながら空いた時間に社会に貢献したいと考える方や専門職を退職した人たちができる間口の広い社会貢献と言えます。具体的には、前出のチラシやホームページ作成・運営ノウハウの改善や税務相談などの場面が考えられます。

NPOにとっても、高品質の成果物で信頼感が高まり、さらには寄付金の増加、活動の認知などにもつながること、またプロジェクトを通じてプロの仕事に触れることで、そのノウハウをNPOの内部に取り込めるという意義もあります。これはNPOにとっても大きな支えになるのでは、と思われる。

今後も、プロボノの可能性に期待したいと思います。

島根で 頑張る人

「共に生きる」 人に優しいまちづくりへ

好きな言葉は、「共に生きる」。障がいがある人も、ない人も、共に生きて互いを理解することから、バリアフリーの社会は広がっていく、と考えるからだ。

30代半ばで失った視力は、人生を一変させた。失意のどん底に沈みかけた時、盲導犬とパソコンとの出会いが再び社会の入り口へ導いた。

プロジェクトゆうあいが目指すのは、「障がい者、健常者のへだてなく、誰でも自立して豊かに暮らせる社会」。そのために、障がいを持つ人の継続的な就労を支援する事業所を今年5月に開設。インターネット



誰もが「共に生きる」社会を目指して…

などによる古本販売や、バリアフリー情報誌の発行、自治体のウェブなどにおけるアクセスのしやすさの診断などを事業化し、現在、十数人の障がい者の就労の場となっている。障がいの種類や程度が異なるため、それぞれのペースを大切にしながら社会参加を促している。

プロジェクトゆうあいではこの他、障がいを持つ子どもたちの一時預かりや、観光施設などにおけるバリアフリー情報の提供、バリアフリーに関する社会啓発活動など、幅広い業務を手掛ける。いまだに盲導犬のレストランへの入店を拒否されることがあったり、不況下において障がい者の仕事を開拓していく厳しさがあったりと、誰もが「共に生きる」社会の形成へ息長く取り組まねばならない課題は横たわり続けている。

組織として産声をあげてから、来年で丸十年。「多くの人の支えがあり、1と1が寄り添って人になって、ここまでやってこれた。人から支えられ、自分も誰かの支えになり、それが生きがいになっている。これからの十年も、互いに支え合う中で、大きく伸びていきたい」。

「人づくりはまちづくり」と、三輪さんは言う。一人ひとりの支え合いから生まれる社会を、信じている。 (K)



プロジェクトゆうあい 理事長 三輪利春 さん

松江市出身。30代半ばで交通事故に遭い、全盲となる。その後、盲導犬やパソコンと出会い、高度情報化やバリアフリーのまちづくりに関する活動に従事。休日には、打楽器のカホンを担当するバンド活動に汗をかく。

団体の今までの主な活動

平成16年、情報化ボランティアグループ「プロジェクト23」とバリアフリーのまちづくりを推進する「島根ユニバーサルデザイン研究会」の有志により設立。障がい者の社会参加支援や、情報化の推進、人にやさしいまちづくりを理念に、障がい者らの就労継続支援や児童デイサービス、バリアフリーの旅・啓発等に取り組んでいる。

スタッフ後記

今年という1年が暮れていきます。皆さんにとって、この1年はどうのような年でしたか？私にとっては、新しい環境と新しい出会いの中で、試行錯誤の連続でした。そして、その中でオタオタ・オロオロするたびに、たくさんの人から手を差し伸べてもらった1年でした。人は1人では生きていけない、そんなシンプルなことを、改めて教わった気がする1年でした。支えていただいたたくさんの方々に、心から「ありがとうございました」。そして、間もなくやってくる新年が、皆さんにとって実り多いものとなりますよう、お祈りしています。 (K)

いきいきフェスタへご来場いただきありがとうございました

12・1(土)は天候不順な中、1,800名もの方にご来場いただき、盛会に終わりました。お礼申し上げます。特に忙しい中、数回の事前研修を受講いただき当日に向かって準備して下さった団体の方には、様々なご協力をいただき、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

【H24.11.30 現在】

- 県内NPO法人数…256 (内 認定NPO法人数…1)
- 新設NPO法人数…0 (H24.11月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数…55
- だんだん認証レベル取得団体数…40 (内 レベル2…23)

松江
事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034
浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田 2階
石見産業支援センター「いわみびらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見
事務所